

一般社団法人日本トンネル技術協会 研究助成申請書

令和 年 月 日

一般社団法人日本トンネル技術協会
会長 菊 川 滋 様

申 請 者(注1)

ふ り が な
氏 名

会員番号

所 属

貴社団の助成金を受けて、下記のテーマについて研究を実施したいので、関係書類を添えて申請します。

記

1. テーマ名

2. 申請区分(注2)

☐a. 研究助成部門

☐b. 研究奨励部門

3. 助成要望額 金 円

4. 助成金受入方法(注3)

☐a. 奨学寄附金

☐b. その他(具体的に)

(注1) 申請者は本会会員限定です。会員番号を記入して下さい。

(注2) どちらかに✓をお願いします。なお、b.の応募資格は40歳未満とします。

(注3) どちらかに✓または記入をお願いします。

研究者経歴

ふ 氏	り が	な 名	生年月日	年 月 日
連 絡 先	住所（〒 ） TEL： FAX： E-mail：			
勤務先（所属）				職名
最 終 学 歴				
学 位 等				
研 究 歴				
主な関連著書・ 論文・研究発表 等				

様式－1.3

研 究 計 画 書(その①)

テ ー マ 名	
研究の概要 (200 字程度)	
研究の背景 ・目的	
研究内容の新 規性・独自性 (既往の研究と の比較等)	
トンネル等事業 への貢献の見 込み	

(注)研究計画書について、用紙が不足するときは、1ページを上限として、追加して下さい。

研究計画書(その②)

研 究 計 画	【研究の目標】 （予定する具体的な成果目標を箇条書きで記載して下さい。また、概念図やフロー図等を付加することも可です。） 【年次計画】（令和 □ 年度～令和 □ 年度 ○年間） （研究の全体計画が複数年にわたる場合、年次計画を以下の例を参考に記載して下さい。ただし、継続助成を保証するものではありません。） （例）＜令和□年度＞研究項目 ① ② ③ ＜令和□年度＞研究項目 ① ② ③ 【当該年度の実施計画】 （実施項目ごとに実施内容を具体的に記載して下さい。） 【実施体制】 （複数人数で実施する場合（申請者以外も含む）の実施項目分担体制を記載して下さい。）
当該研究に関する他機関からの助成有無	有 機関名： 助成期間： 無

助成要望額内訳

費 目	金 額	内 訳
人 件 費		
資 料 費		
調 査 費		
旅 費 交 通 費		
消 耗 品 等 費		
通 信 費		
印 刷 製 本 費		
謝 金		
借 料 ・ 損 料		
論 文 投 稿 料		
管 理 費 用		
合 計		

(注) 助成を希望するテーマの研究に必要な範囲で、実態に即して作成して下さい。内訳はできるだけ具体的に記入して下さい。

助成決定通知書

令和 年 月 日

申請者
氏名
所属

一般社団法人日本トンネル技術協会
会長 菊 川 滋

令和 年 月 日付けで申請のあった研究助成については、下記のとおり助成することに決定しましたので、通知します。

記

1. 助成番号

2. 助成テーマ名

3. 助成期間

自 令和 年 月 日 至 令和 年 月 日

4. 助成金額

金 _____円

5. 助成に当たっての条件

申請書に記載された内容に従って研究を実施して下さい。

助成不採用通知書

令和 年 月 日

申請者
氏 名
所 属

一般社団法人日本トンネル技術協会
会長 菊 川 滋

令和 年 月 日付けで申請のあった「(テーマ名を記入)」に対する助成については、残念ながら不採用となりましたので、お知らせします。

請 書

令和 年 月 日

一般社団法人日本トンネル技術協会
会長 菊 川 滋 様

助成研究者
氏 名
所 属
役 職
住 所

下記の研究助成について、一般社団法人日本トンネル技術協会研究助成要綱及び申請書等に
従い誠実に実施致します。

記

1. 助成番号：

2. 助成テーマ名：

3. 研究の概要：別添（公開を前提に、200 字程度で作成してください。）

4. 助成期間：自 令和 年 月 日 至 令和 年 月 日

5. 助成金額：金 円

研究助成金振込先通知書

令和 年 月 日

一般社団法人日本トンネル技術協会
会長 菊 川 滋 様助成研究者
氏 名
所 属
役 職
住 所

助成テーマ名 _____

助成研究者名

研究開発助成金の受入方法

- a. 奨学寄附金
- b. その他（具体的に _____）

下記口座振込みにより、お支払い下さい。

振 込 銀 行 名			
支 店 名			
預 金 種 類 ○ 印	普通預金	当座預金	(その他)
口 座 名 義			
ふりがな			
口 座 番 号			

(注1) 助成金振込先通知書は、法人等組織の助成金振込口座を扱う会計責任者が行って下さい。

(注2) 口座名義は、法人等組織の助成金振込口座を記入して下さい。助成研究者の個人名義の口座は不可です。

研究成果報告書

令和 年 月 日

一般社団法人日本トンネル技術協会
会長 菊 川 滋 様

助成研究者
氏 名
所 属
役 職
住 所

令和 年 月 日付け助成番号 で助成決定を受けた「(助成テーマ名を記入)」につ
いて、研究を終了したので、報告書を添えて報告します。

【参考】報告書様式

報告書は、以下の構成に準じて、作成して下さい。

令和 年度 一般社団法人日本トンネル技術協会研究助成報告書 助成番号： 助成テーマ名 —副題— 令和 年 月 日 助成研究者氏名 所属機関名称	研究概要 目的 研究方法 調査、実験等の結果 結論 今後の課題 助成研究者所属・氏名 共同研究者所属・氏名
目次 第Ⅰ章 1. 1.1. 1.2. 2. 3. 第Ⅱ章 1. -1-	第Ⅰ章 1. 1.1 1.2 2. 第Ⅱ章 1. -2-

決算報告書

令和 年 月 日

一般社団法人日本トンネル技術協会
会長 菊 川 滋 様

助成研究者
氏 名
所 属
役 職
住 所

令和 年 月 日付け助成番号 で助成決定を受けた「(助成テーマ名を記入)」について、研究を終了したので、支払証拠書(注)を添えて、下記のとおり報告します。

記

(単位：円)

費 目	金 額		摘 要
	計画	実績	
人件費			
資料費			
調査費			
旅費交通費			
消耗品等費			
通信費			
印刷製本費			
謝 金			
借料・損料			
論文投稿料			
管理費用			
合 計			

(注1) 各費目に関して、支出が複数にわたる場合には、明細書を添付して下さい。

(注2) 支払証拠書の作成にあたっては、領収書等のコピーをA4版用紙に貼付し、決算報告書の費目及び明細書との対応が判るように整理して下さい。

研究助成金の返還届

令和 年 月 日

一般社団法人日本トンネル技術協会
会長 菊 川 滋 様

助成研究者
氏 名
所 属
役 職
住 所

貴社団の令和 年度研究助成金について、下記のとおり余剰額が生じました。つきましては、返還に係る手続きについてよろしくお取り計らい願います。

記

1. 助成研究名

2. 助成金額 円

3. 余剰額 円

4. 返還理由 例) 計画の研究費用に対し、支出が達しなかったため

一般社団法人日本トンネル技術協会 助成研究中間報告

令和 年 月 日

一般社団法人日本トンネル技術協会
会長 菊 川 滋 様

申 請 者
ふ り が な
氏 名
会 員 番 号
所 属

下記の助成研究について、本年10月末までの進捗状況及び今後の見込みに関して、添付
の中間報告書のとおり報告致します。

1. 助成テーマ名
2. 助 成 番 号
3. 助 成 金 額

助成研究の中間報告書
(助成研究の開始から本年 10 月末まで)

報告日：令和 年 月 日

助成番号	助成テーマ名	申請者(氏名、所属)
研究の進捗状況	10 月末までに実施した研究の内容及び得られた成果について記入して下さい。	
今後の見込み	研究の進捗状況を踏まえ、今後実施する研究の内容を記入して下さい。	
研究を継続する 必要性、重要性	当該研究を継続する必要性や重要性について記入して下さい。	
その他特記事項	その他、参考となる情報があれば記入して下さい。	

注；必要があれば 2 ページになっても構いません。